

たけた 市議会だより

2010.11.1

No. 21



シリーズ
若者

秋田県大仙市立花館小学校4年竹組の皆さん



社会文教常任委員会 花館小学校にて

先日は、大分の特産物「かぼす」をありがとうございました。最初はびっくりして「どんな味がするのかわからない緑色の皮に興味津々でした。4年竹組の児童だけでなく、全校児童にまでしていただけるのかと申し訳ないと思いましたが、ありがとうございました。さて、学校訪問された時の花館小学校の印象はいかがだったのでしょうか。私たちは、これからもあいさつ・マナーなど学校がもっとよくなるためにがんばりたいと思います。また機会がありましたら、学校にいらして下さいね。全校児童、楽しみにお待ちしております。

▲ 花館小学校 児童代表6年 泉谷風花さんから届いた手紙

行政視察に 同行して

社会文教常任委員会の行政視察に同行して、学力・体力とも全国一・二番を争う秋田県大仙市立花館小学校を訪問。藤原保子校長先生の配慮で、1年生から6年生まで各学年2クラスずつの全校369人の児童の授業を見学した。

1年生は私達の突然の訪問で、後ろを見たりガヤガヤしていたが、先生は注意するわけでもなく穏やかに小さな声で「皆さん聞く準備はできましたか」と言っただけで児童も前を向き授業に戻っていた。4年竹組の社会科の授業で児童から竹田市概要を聞かれる。特産品の話から「カボスを知らない、見たい」と話が進んで、JAおおいのみどり地域本部の力を借りて先生と児童全員にカボスを送る。児童は初めて目にするカボスに大喜びしたようだった。全員からお礼の手紙をいただいた。

(議長 荒巻 文夫)



阿部 雅彦 議員

総合政策監と竹田総合政策研究所新設について

阿部 なぜ、竹田研究所を再構築して竹田総合政策研究所を設置するのか。また、総合政策監的な任務は副市長が負うべきではないのか。

市長 旧竹田研究所の取り組みの成果や経緯は素晴らしいものがあるが、竹田市全体として進める政策と地域における市民運動とが連動をし、一枚岩となるまちづくりを進められるように再構築したい。また、新過疎債の中でソフト事業として受けられる交付金をこのシステムで有効に生かしたい。総合政策監については官民の橋渡しのため地域に入り、柔軟性をもって活動ができるマンパワーを非常勤の特別職という形でもって置きたい。

竹田・玉来線街路事業に伴う玉来地区市街地の総合的な環境整備について



玉来地区市街地の様子

阿部 来年度末の工事完了に伴う交通量増加による交通安全対策・街路灯による防犯対策・千石井路改修による排水対策をどのように考えているのか。

建設課長 県が歩道の整備を進めてきており、歩行性は良くなってきた。街路灯については商店組合と協議をして改善策を模索したい。また、千石井路の整備については、今後どういった対策を取るか協議をしていきたいが、先ずは「さぶた」や都市下水路の管理をしつかりしたい。

阿部 玉来地区のまちづくりのビジョンはどう考えているのか。

商工観光課長 玉来地区の活性化については地元住民の皆さんとのコンセンサスづくりが必要。

バイオマスタウン構想とリサイクルセンター建設について

阿部 二つの事業の整合性は。環境衛生課長 バイオマスはエネルギーの再生、リサイクルセンターは原料の再生であって大きな整合性は考えていない。



渡辺 克己 議員

総合政策監について

渡辺(克) 総合政策監任務のうち、企画は政策なり事業のうち心となるべきものであり、市長自らその道筋を示し手がけるか、命を受けた副市長があたるべきかと思いがどうか。

総務課長 総合政策監は組織に位置付けない職とし、非常勤の特別職とする。したがって決裁権は持たない。各課長とは合議、協議、相談することです事務処理を行う。「特別職の報酬及び費用弁償に関する条例」を改正すれば他の条例

改正は必要がない。

渡辺(克) 重要施策のかじ取りとも言うべき業務を、外部の第三者で1年限りの嘱託職員に任して良いのか。

副市長 地域間競争に打ち勝つため、行政を強力に進める手法であり、今後退職者の増加するなか即戦力として必要である。

渡辺(克) 総合政策監は地方自治法の第158条1項の「長の直近下位の内部組織」ではないのか。そうであれば「竹田市行政組織条例」の改正が必要ではないのか。

副市長 総合政策監は組織でなく人であり「内部組織」にはあたらぬ。したがって「特別職の報酬…」の条例改正での身分の位置づけで良いと考える。

渡辺(克) 決裁権のないものが重要施策の企画推進や調整をすることが出来るのか。

市長 総合政策監は私どもの政策の方向性を十分に理解したうえで、一体化した自身として行動する。行政内部または外部での意見の調整を行うための任務を持つものである。

口蹄疫対策について

渡辺(克) 口蹄疫対策について今後の市場動向の見守りと、風化防止のため予算書の中に「口蹄疫」の文言を明記してはどうか。

市長 今後の動向を見守っていききたい。口蹄疫の単語が見えることについては検討したい。



今後の口蹄疫対策は…。





河野 泰浩 議員

農林業振興計画について

河野 □蹄疫が一応終息したが、早く市場が正常になることを願う。また米価の暴落が心配されている。日本共産党は農林水産委員会で政府に対し米の買い上げを決断し下支えすることを求めた。

竹田市が策定した農林業振興計画の部門別推移の状況は。

農政課長 畜産は16年度76億5千万、18年度86億7千万、野菜は16年度と18年度は同じで49億9千万、米は16年度33億1千万、18年度33億5千万。19年度から農政事務所の統計がない。JAの販売高で推測すると下降している。

河野 主な品目別の伸びは。

農政課長 JAの販売資料に基づく20年と16年との対比でトマト7億5千万、30%減、ねぎ類2億1千万、5%増、カボ

ス1億2千万、28.6%減など全体で約18.3%の減となっている。

河野 品目では大きく落ち込んでいるものもある。今後の見通しは。

農政課長 市とJAが連携して農村商社を中心に直販体制も拡充して当初の目標に近づけるように農林業の振興を図っていく。

鳥獣被害対策について



増加する鳥獣被害

河野 被害の実態は。

農政課長 21年度4、123万円で、うちイノシシは、2、337万円。

河野 猟友会の実態と市との連携、助成の状況は。

農政課長 19支部284人で構成、70歳以上が48.8%、捕獲班の区域変更・拡大は安

全性や効率を考え、団体と協議していく。捕獲活動支援金を年間一人8千円、事務費(犬の治療費等含)の補助として40万9千円予定している。

文化会館周辺の川の整備について

河野 夏は異臭が発生する。抜本的な対策を県に要求しては。建設課長 県が流量確保の工事をしたが、全長800mで50cmの段差しかない。水門近くの河床掘削と水草の撤去を県と協議中。



渡辺龍太郎議員

健康づくりについて

渡辺龍 「寝たきり」の人は現在どのくらいいるか。

健康増進課長 介護保険の認定者から人数を把握すると、本年7月現在、寝たきりにあたる要介護4・5合わせて385人で認定者の17%が寝たきりと把握している。



元気な高齢者を目指して

渡辺龍 脳溢血、脳梗塞などが寝たきりになる要因として考えられる。脳内出血の予防策として血管年齢の測定を「健康の駅」事業で推進している。自治体が増加している。竹田市も取り組んでみてはどうか。健康増進課長 すでに設置された事例(秋田県横手市)の「健康の駅よこて」は、市内の公共施設を規模ごとに大規模駅・中規模駅・小規模駅に分け、その規模にあった健康づくり活動を行っている。「健

まちづくりについて

渡辺龍 現在の観光動態をどう捉えているか。観光でのまちづくりは年月がかかるが、まちは耐えていけるか。観光に福祉をプラスして考えられないか。

商工観光課長 竹田市全体では平成17年には418万4千人、平成21年は358万4千人と減少している。原因としては、景気の低迷、原油価格の高騰で観光地へ出かけることを控えていると考えられる。確かに観光でのまちづくりは、時間がかかるが、これからは再度竹田にあるものを見直し、再構築していく。さらに滞在型観光の推進を、温泉療養を通じて図っていく。これからのまちづくりは幼児から高齢者、さらには妊婦さんなどに配慮した、使いやすく安全なまちづくりが必要と考えている。



井 英昭 議員

嬰鳴フォーラム後の まちづくりについて

井 民間の廣瀬武夫顕彰会や竹田ロータリークラブでは、廣瀬中佐が少年時代を過ごした岐阜県高山市との交流が始まった。市としても高山市をはじめ廣瀬中佐ゆかりの市町村との交流や情報交換を公式に始めてはどうか。

企画情報課長 嬰鳴フォーラムは一過性の企画ではなく、地域学として廣瀬中佐の人間像を追求していくことで、まちづくりや政策に反映していきたい。既に愛媛県松山市や岐阜県高山市と情報交換を始め、ロシア大使館や日露文化センターなど廣瀬中佐を通じてネットワークが形成されてきた。廣瀬中佐が留学していたサンクトペテルブルクとの交流もできるのではないかな。

これからも積極的に交流を図っていききたい。

井 嬰鳴フォーラムが終わってからもまちづくりは続く。嬰鳴フォーラムが目的ではなく、これを機会にふるさとの先人を顕彰していくことが目的なので期待している。



800人の観客で埋まる嬰鳴フォーラム (10/23)

立志式について

井 立志式とは江戸時代の元服式になぞらえ、14歳から15歳で自分が将来どうなりたいかを人前で発表する儀式の一つである。竹田市でも中学時代に、地域の人や親に聞いてもらい、どのように成人までを迎えるかを考える機会を設けてはどうか。

教育長 教育とは地域の中で

生き、地域の協力がなければ成り立たないと考えている。竹田市では道徳教育や職業体験、総合学習をしており、そのなかで自分の将来を考える機会を与えていると考えている。

井 地域が教育にどう関わっていくかという視点から提案した。最終的には地域づくり・まちづくりにつながっていくと考えているので今後の取り組みを望む。

議員 ふんとう記



第63回県民体育大会 陸上(議員・教員)ソフトボール大健闘!



議員ソフトボール 堂々の準優勝!(9/13)

陸上競技

監督 坂梨 宏之進

400mリレーの競技前に「昨年は5位であったが今年は3位になります」と議員各位に報告した。それがなんと予想が見事に的中。その理由を分析すると、今年の選手の皆さんは少年のような輝く目をしていたこと、練習の後半は素晴らしいチームワークでバトンリレーができていた。また、中距離に強い倉原教育委員の参加があったことである。

一瞬、陸上競技の解説者になろうかと思った一日であった。

ソフトボール

監督 吉竹 悟

戦いは高田市民グラウンド。初戦は完勝。2回戦は最終回6点差を逆転しての勝利であった。しかし、勝利の代償は大きく、負傷者続出で采配に苦慮した。準決勝もギリギリの選手起用であったが完勝。いざ決勝戦は大分市、約30分の時間打ち切りのため、3回0対1で敗退。我がチームにとっては2年ぶり準優勝。少ない練習時間であったが、傷だらけの記念すべき大会となった。ちなみに、私は練習3日目に骨折し、声と左腕での采配となった。



3位入賞した陸上チーム (大分スポーツ公園・大銀ドームにて 9/12)

総務常任委員会研修報告

総務常任委員会委員長 後藤 憲 幸

去る10月5日から、新潟県村上市、佐渡市の行政視察研修を行った。

村上市では「行政改革の取り組み」と「防災の取り組み」の2点を研修した。行政改革については、

平成20年に1市2町2村の合併で人口7万人、面積は新潟県で一番広い新

市が誕生したが、千人近い職員体制でのスタート

となった。繁忙期に職員体制を柔軟に対応する方

針により、概ね人口100人当りで職員一人の体

制を目指し、財政の悪化や行政サービスの低下に

至らぬよう心がけている。また、防災については、

住民自らが自分たちを守る「自主防災組織」の結

成について助成を行い、7割を超える結成率を達

成している。助成内容は、防災資材購入費と防災活

動経費の2分の1を、5

万円を限度として補助金の支給をするものである。また、携帯電話を利用して防災情報をメール配信している。



佐渡市で説明を受ける一行

次に佐渡市では、「世界遺産登録に向けた取り組み」と「地域おこしチャレンジ事業」について研修した。佐渡は金銀山を江戸

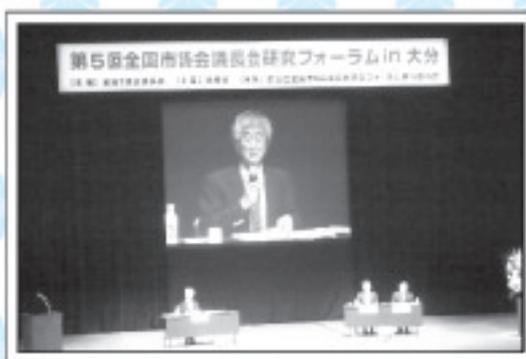
幕府が直接管理する天領であった。佐渡市では世界遺産推進課を設け、市一丸となり推進しているが国内外に強くアピール

が必要とのこと。この取り組みのきっかけは大学教授の助言からと言われているが、かなり高いハードルであることを感じた。また、地域おこしについては、新市建設計画に基づいて合併特例債を活用した「佐渡市地域振興基金」を造成し、その

利子収入をこの事業に充てている。実施事例として、①民家に眠っているお雛様を街中に展示する「佐渡國相川ひな祭り」、②地区の道邊に花やソバを植え、手打ちそば祭りを開催する「海府イエローロード」、③合同で獅子舞をし、地域間交流の促進を図る「佐渡小獅子舞サミット」の説明を受けた。

今回の研修を参考に、竹田市にない、良いところを取り入れ、より住み良い竹田市を目指していきたい。

全国市議会議員 研究フォーラムに参加 in 大分



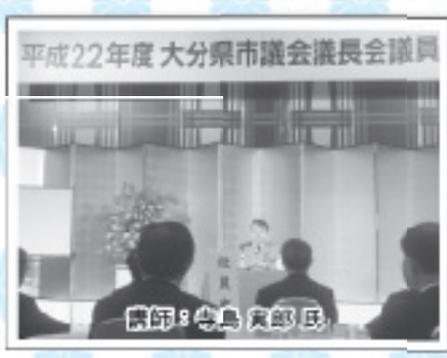
第5回全国市議会議員会研究フォーラム in 大分



全国から集まった市議会議員

全国市議会議員会長の研究フォーラムが、10月30日(水)から2日間の日程で大分市のiichikoグランシアタで行われました。全国各地の市議会議員の意見交換を目的に毎年開かれており今年で5回目。今年は大分での開催となったため、竹田市議会からも多くの議員が参加しました。

10月12日(火)東洋ホテルにて、大分県市議会議員会議員研修会が開催されました。当日は、(財)日本総合研究所理事長 寺島実郎 氏を講師に迎え、「世界の構造転換と日本の進路」と題して講演をいただきました。



平成22年度 大分県市議会議員会議員研修会

講師：寺島実郎氏

お知らせ

◆本会議を傍聴しませんか？

本会議は一般に公開されています。どなたでも傍聴することができます。皆様のお出でをお待ちしています。

なお、常任委員会の傍聴は、委員長の許可が必要となりますので、開催日の前日までに議会事務局へお申し出ください。

※次回定例会は12月上旬開会予定です。

◆ケーブルテレビで中継しています

定例会初日の提案理由の説明と、一般質問及び代表質問をケーブルテレビで中継しています。

◆会議録を公開しています

竹田市議会公式ホームページには、本会議の会議録のほか、議会の概要、議員の紹介、議会日程、請願・陳情の提出方法などを掲載しています。是非ご覧ください。

◎詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局

☎63-4813

<http://www.city.taketa.oita.jp/gikai/>



決算審査特別委員会の様子



■今年の夏は異常気象の天候。熱中症で倒れる方への予防方法が紹介されるなど、全国各地暑い夏であった。京都では39.9度を記録したが、この気温は人の体温を上回る暑さで気象庁始まって以来の高温とのこと。今の地球環境、何が起きるか分からない。

(後藤 憲幸)

■「静かにしなさい」ではなく「聞く用意はできましたか」。秋田県の小学校では先生の声は小さくてもすむそうです。「違います」とは決して言わず「そんな考え方もありますね」。大人の世界でも共通のやる気の引き出し方を学んだ気がします。

(井 英昭)

■喫煙者には今回的大巾値上げは頭痛の種。この際禁煙しようとの片隅で小さな決意をしてみたら、値上げ前日その決意はどこへやら、少しでも節約をと買い溜めにて一件落着。かわいい孫のためにも吸いすぎに注意しよう。

(足達 寛康)

■教育の根源を児童や先生の言葉から感じ取る。国の基礎である国旗、国歌。秋田県花館小学校では、入学、卒業式で国旗を仰ぎ、国歌を先生、児童全員で歌うという。カボスのお礼状の中に「これからも挨拶、マナーなど学校がもっと良くなるために頑張っていきたい。」この一言が心に沁みる。

(荒巻 文夫)